

添付様式2-3 事業計画書及び収支見積書(破砕業者用)

平成 年 月 日現在作成

1-1. 事業の全体計画(業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種を含む。)

業務時間	:	~	:	従業員数
				人
			休業日	

1-2. 解体自動車等の引取実績及び計画

年度	__年度実績 (3年前)	__年度実績 (2年前)	__年度実績 (1年前)	許可取得後の 年間計画
引取台数	台	台	台	台
主な引取先				

1-3. 破砕実績

年度	__年度実績 (3年前)	__年度実績 (2年前)	__年度実績 (1年前)
年間処理実績	台	台	台
年間稼働日数	日	日	日
平均処理実績	台/日	台/日	台/日

1-4. 破砕能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
台/日	日	台

1-5. 保管の状況

解体自動車		ASR	
保管量の上限	台(m <sup>3</sup> )	保管量の上限	m <sup>3</sup>
現在保管量	台(m <sup>3</sup> )	現在保管量	m <sup>3</sup>

添付様式2-4

1-6. 年間収支見積書

平成 年 月 日現在作成

項 目		前年度( 年) (決算月( 月))		今年度の見込み (年間)	
		年度 (千円)	(1台当) (円)	年度 (千円)	(1台当) (円)
売上高(全体)	ア(総売上収入)				
売上原価	イ(解体自動車等購入費)				
経費	ウ				
	うち廃棄物処理委託費				
	エ				
営業利益	オ=ア-イ-ウ				
営業外損益	カ(主に支払利息(注))				
経常利益	キ=オ+カ				
解体自動車等年間引取台数					
解体自動車等年間処理台数					

(参考)

	前年度末	現在
負債総額(年度末残高) (千円)		

(注)1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。

2 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合は、マイナスで計上すること。